

世羅町商工会 平成 30 年度経営発達支援事業報告書

【総括】

平成 28 年 4 月 22 日に経営発達支援計画の認定を受け、3 年間にわたり掲げた目標数値に到達するよう事業推進を行ってきました。本計画は個々の事業所が持続的発展をするために商工会として何をすべきなのかを改めて問われたものです。経営発達支援計画は、小規模支援法に基づく「基本指針」に則り、13 事項 21 項目について記載を求めています。

2016 年版小規模企業白書によれば、小規模事業者で経営計画を作成したことがある者は約 5 割で、作成したことがある者は、作成したことがない者に比べて売上の増加傾向が高いという調査結果も出ており、経営計画の作成は小規模事業者の持続的発展に不可欠であると思われます。平成 28 年度以降に経営計画を作成した 101 社のうち、計画策定後の数値実績が把握できた先が 63 社あり、そのうち売上が増加した事業所が 37 社、粗利益が増加した先が 33 社ありました。平成 29 年度より記帳機械化を行っている事業者の月次試算表が出来た際に、経営指導員等による考察コメントを付けることを始めたことで、経営計画作成に取り組んだ事業者、税務上のメリットを享受できた事業者もおられます。

経営発達支援計画において指標としている項目 47 件のうち A 評価が 23 と、一定の成果は出しているものの、計画策定時に想定した目標数値が何を集計するべきなのか手探り状態で進めてきた感は否めないと思われます。記載している数値はあくまでも目標であり、事業所の売上増進、販路拡大に繋がる方策を事業所に寄り添って進めることが本来の目的であるはずで

す。今後において、国は「成果」を求めており、売上や売上総利益が増加する等の数値での判断になってくると考えられます。そういったことから、「成果目標」を踏まえたフォローアップと、市町村との連携体制を記載事項に追加される見通しです。また、最終的な出口と言える売上アップに繋がる支援策を講じていく必要があると思われます。

広島県による事業評価時の K P I（重要業績評価指標）は、平成 30 年度より利用されないこととなった。

（平成 29 年度では事業計画策定事業所数、経営分析件数、巡回相談窓口回数の 3 項目）

Ⅰ. 経営発達支援事業の内容

1. 地域の経済動向調査に関すること【指針③】

(1) 行政や民間団体の各調査データ及び当会の既存事業より把握される経済動向から、次にあげる項目について調査・分析した。

①世羅町統計データブック（世羅町発行の統計データ 毎年8月更新）

1) 将来推計人口（未公表）

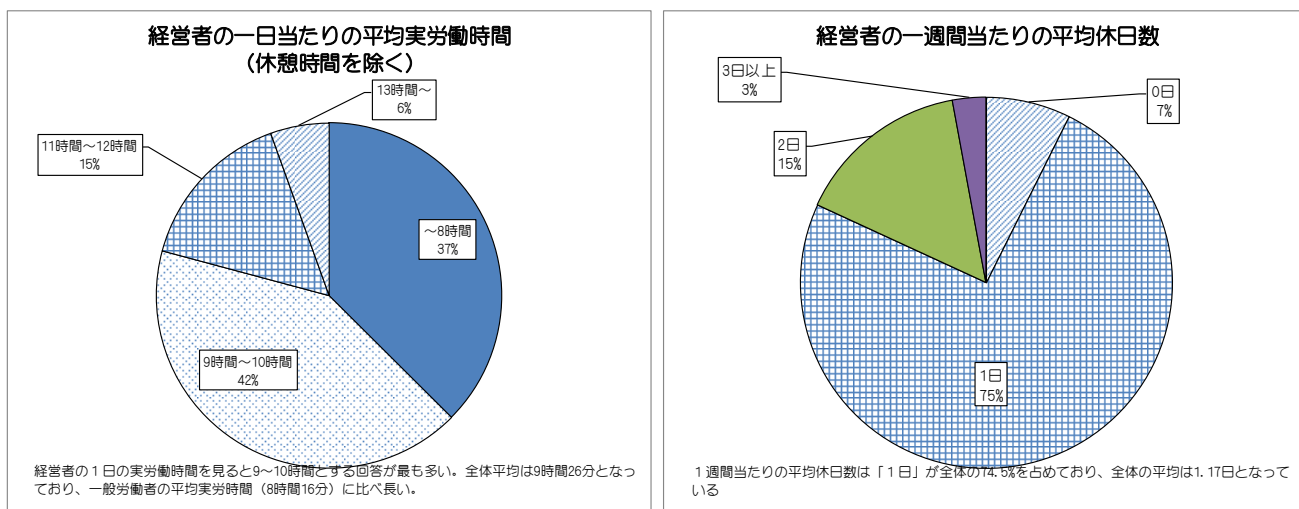
- ・平成25年における発表数値よりも見込数値は減少

◆平成25年と平成30年発表数値の比較

人口	総数	14歳以下	15～64歳	65歳以上
2020年	△ 85	△ 34	△ 349	298
2025年	△ 212	△ 80	△ 554	422
2030年	△ 367	△ 139	△ 732	504
2035年	△ 542	△ 235	△ 830	523
2040年	△ 751	△ 318	△ 975	542

②小規模企業白書（中小企業庁）

1) 経営者の一日あたりの平均実労働時間、一週間当たりの平均休日（未公表）



③融資データ（町預託融資・マル経融資）

1) 町預託融資 → 実行件数は18件減となるが、金額は44,080千円増
 融資残高は11,928千円増、運用率も1.81%増で269.89%

2) マル経融資 → 実行件数、実行金額が大幅に伸展（件数9件増、金額35,850千円増）
 年末残高は377,699千円で前年対比96,747千円増

④既存事業データ

1)記帳データ、確定申告データの調査分析（未公表）

- ・270件を業種で分類し売上総利益率、人件費率、外注費率、F L比率、特前所得率を分析

業種	売上増加者率	売上総利益率	人件費率	外注費率	F L比率	特前所得率
小売業	31.25%	36.48%	10.85%	0.83%		5.01%
飲食業	39.29%	58.52%	11.64%	0.00%	53.12%	3.28%
理美容業	32.14%	90.93%	23.36%	0.00%		26.10%
製造業	52.38%	59.48%	11.43%	4.82%		16.48%
建設業	42.86%	73.94%	6.41%	10.43%		23.76%
その他	46.55%	89.68%	9.93%	5.27%		19.18%

※製造業及びその他を除く業種は、売上増加者率が前年よりも減少している。

特前所得率は全ての業種で減少している。

2)世羅とくとく商品券事業（令和元年度総代会資料に掲載予定）※下記（ ）内は平成29年分

- ・商品券事業によって来店客が増えたと回答した事業所 23%（29%）
- ・売上の増加につながったと回答した事業所 23%（23%）
- ・コミュニケーションツールとして役立ったと回答した事業所 52%（80%）
- ・ついで買いがあったと回答した事業所 21%（32%）

（目標に対する実績、達成度及び評価）

	目標	実績	達成度	評価
世羅町統計データブックの調査・分析	1回	1回	100.0%	A
小規模企業白書の調査・分析	1回	1回	100.0%	A
町預託融資の調査・分析	1回	1回	100.0%	A
マル経融資の調査・分析	1回	1回	100.0%	A
記帳業務データの調査・分析	1回	1回	100.0%	A
確定申告業務データの調査・分析	1回	1回	100.0%	A
世羅とくとく商品券事業の調査・分析	1回	1回	100.0%	A
その他統計データの調査・分析	1回	0回	0.0%	E

2. 経営状況の分析に関すること【指針①】

(事業内容)

(1) 窓口・巡回業務で受ける各種経営相談

- ・全職員で対応 窓口相談 1,843 回、巡回相談 1,254 回、創業窓口 48 回、創業巡回 5 回
- ・571 事業所を巡回 (全会員 613 のうち定款会員を除く 596 会員に対し 95.81%の浸透率)

(2) 経営分析セミナーの開催

- ・平成 30 年 10 月 26 日開催 参加者 10 名
タイトル「事業計画策定で見えてくる自社の強み・弱みとは」

(3) 専門家による個別相談会の開催

- ・人材育成補助金を活用した個別相談 9 回、活用事業者延 44 名

(4) 専門家派遣制度等の活用

- ・ミラサポ等の制度活用 19 回

(目標に対する実績、達成度及び評価)

	目標	実績	達成度	評価
窓口、巡回訪問件数	3,600 件	3,150 件	87.5%	B
経営分析セミナー開催数	1 回	1 回	100.0%	A
経営分析セミナー参加者数	15 名	10 名	66.7%	C
専門家による個別相談会開催数	8 回	9 回	112.5%	A
専門家による個別相談会・参加者数	24 名	44 名	183.3%	A
経営分析に係る専門家派遣回数	20 回	19 回	95.0%	B
経営分析件数	120 件	123 件	102.5%	A

3. 事業計画策定支援に関すること【指針②】

(事業内容)

(1) 事業計画策定セミナーの開催

- ・平成30年11月9日開催 参加者9名
タイトル「将来を見据えた体質改善計画」

(目標に対する実績、達成度及び評価)

	目標	実績	達成度	評価
事業計画策定セミナー開催	1回	1回	100.0%	A
事業計画策定セミナー参加者数	15名	9名	60.0%	C
策定に係る個別支援回数	180回	210回	116.7%	A
事業計画策定事業所数	36件	33件	91.7%	B
うち新規創業(第二創業除外)	6件	5件	83.3%	B

4. 事業計画策定後の実施支援に関すること【指針②】

(事業内容)

(1) 各種支援制度利用件数 34件31者(重複あり)

- ・町持続化：17者 ・町創業：6者 ・ものづくり：1者
- ・経営革新計画：1者 ・持続化：7者 ・先端設備等導入計画：2者

(2) 経営革新(株)おへそ 「高速冷凍技術の導入による販売機会の確保と生産効率の向上」

(目標に対する実績、達成度及び評価)

	目標	実績	達成度	評価
フォローアップ実施件数	106社	95社	89.6%	B
フォローアップ実施回数	316回	247回	78.2%	C
各種支援制度利用件数	20件	34件	170.0%	A
経営革新承認件数	3件	1件	33.3%	E
町預託融資実行件数	130件	108件	83.1%	B
マル経融資実行件数	12件	21件	175.0%	A

5. 需要動向調査に関すること【指針③】

(目標に対する実績、達成度及び評価)

	目標	実績	達成度	評価
商品券事業の調査分析	1回	1回	100.0%	A
道の駅世羅の利用顧客データの調査分析	1回	0回	0.0%	E
新聞等の統計データの調査分析	1件	0件	0.0%	E
個別需要動向調査実施件数(事業者)	36件	37件	102.8%	A

6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること【指針④】

(事業内容)

(1) 売れるものづくり⇒「逸」品開発(特産品開発・メニュー開発)

- ・特産品開発 「せら韋駄天まんじゅう」のネーミング、商標登録等の支援

(2) 売れる場所づくり・場所さがし⇒「逸」の販売チャネル創出

- ・販路拡大支援事業利用事業者 6 社
- ・ひろしま夢ぶらざとの商談実施 3 社
- ・広島県商工会連合会の商談会への参加 1 社

(3) 売れる人・仕組みづくり⇒「逸」の販売促進

- ・平成 30 年 9 月 4 日開催 参加者 17 名
タイトル 「脱! 価格競争実現のための【新規開拓】ノウハウ」
- ・平成 30 年 9 月 10 日開催 参加者 17 名
タイトル お金をかけずに宣伝PRする方法

(4) 連携先支援機関等の実施する事業の活用⇒「逸」サービス・「逸」技術の販路拡大

(5) 情報発信・プレスリリースに関すること⇒「逸」の情報発信

- ・全国商工会連合会「観光宝探しノート」へ掲載 10 社
- ・経済レポートへの記事掲載(当会のセミナーでの内容を実践して掲載となる)
- ・商工会情報誌まるせらへの記事掲載
- ・商工会ホームページ、フェイスブックへの情報アップ

(目標に対する実績、達成度及び評価)

	目標	実績	達成度	評価
特産品開発数	1 件	1 件	100.0%	A
商談会・展示会・物産展等への延べ参加事業者数	10 社	6 社	60.0%	C
商談実施回数	10 回	4 回	40.0%	D
販売促進セミナー	1 回	2 回	200.0%	A
HPによる情報発信回数	24 回	4 回	16.7%	E
広報誌・パブリシティー等への掲載回数	12 回	6 回	50.0%	D

II. 地域経済の活性化に資する取組

1. デマンド交通事業による活性化

(事業内容)

- (1) 行政（企画課、福祉課）、社会福祉協議会、運行事業者 3 社、商工会による運行会議を開催し、利用者ニーズに合った運行体制の再構築により利用者増加をめざした。
- (2) 利用者が増えることで、商業施設等における消費金額が増加することが推測され、地域商業の活性化につながる。

(目標に対する実績、達成度及び評価)

	目標	実績	達成度	評価
利用者数	29,000 人	28,912 人	99.7%	B

2. 世羅とくたく商品券事業による活性化

(事業内容)

- (1) 世羅とくたく商品券事業の実施にあたり、特別委員会において 2 回開催し本事業の実施要領を検討し運営に当たった。
- (2) 全ての商品券取扱事業所において利用されるように、スタンプラリーを実施しているものの、前年実績より 6 件減少となった。

(目標に対する実績、達成度及び評価)

	目標	実績	達成度	評価
利用事業所	200 件	189 件	94.5%	B

3. 農商工観連携による活性化

(事業内容)

町内版のビジネスマッチングフェアとしての「農商工観連携セミナー（仮称）」を尾道市農業協同組合と世羅町観光協会との共催により開催する計画であったが、未実施となった。

また世羅高原 6 次産業推進協議会に平成 28 年度より参画していることから、当該事業実施に向けた良い協議の場になると考える。

(目標に対する実績、達成度及び評価)

	目標	実績	達成度	評価
セミナー数	1 回	0 回	0%	E
連携数(累計)	1 件	0 件	0%	E

III. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

1. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること

(目標に対する実績、達成度及び評価)

	目標	実績	達成度	評価
日本政策金融公庫との連携	2回	2回	100.0%	A
町内金融機関との連携	2回	1回	50.0%	D
尾道税務署との連絡協議会	1回	1回	100.0%	A
備南地区商工会の職員全体会議	1回	1回	100.0%	A
世羅町観光協会との連携	2回	1回	50.0%	D

2. 経営指導員等の資質向上等に関すること

(1) 広島県商工会連合会及び広島県商工会職員協議会主催の研修への参加

研修名	参加者	研修のねらい
管理職養成研修	事務局長	事務局運営
相談能力向上研修	課長	マネジメント能力向上
商工会専門スタッフ研修	経営指導員	指導能力の向上
経営革新支援研修	経営指導員	経営支援能力向上
職員基本能力研修	指導職員・一般職員	経営支援研修
職員パワーアップセミナー	全職員	経営支援事例の共有

(2) 中小企業大学校主催の研修への参加

研修名	参加者	研修のねらい
業務に活かす財務分析実践講座	主任主事 佐倉喜代美 主任主事 今田真由美	経営支援能力の向上

(3) 首都圏大型展示会等への視察研修への参加

視察先	参加人員	視察研修のねらい
販路開拓支援「商談会」	1名	販路拡大・商品開発に関する資質向上

(4) 支援ノウハウの共有体制強化

- ①支援を行う際に、職種の異なる職員がチームを組み、スキルアップを図った
- ②補助金申請及び事業実施に際し、指導員と指導職員が連携し事業推進を行った

(5) 業務終了後に職員全員を対象に、下記の内容等についての研修会を開催した。

- ①平成 30 年度世羅町商工会経営支援メニューについて
- ②先端設備等導入計画に係る認定申請書について
- ③「まるせら」へのデータアップの方法について

3. 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること

- (1) 世羅町、日本政策金融公庫、町内金融機関、中小企業診断士、一般社団法人世羅町観光協会、広島県商工会連合会、商工会により組織する事業評価委員会において、成果の評価を行い、評価結果を委員会において比較検討し見直しをするためのPDCAサイクルの仕組みを作り年間2回開催した。
- (2) 商工会理事会において、委員会での評価・見直しを報告して承認を受け方針を決定し、総代会へ報告する予定。
- (3) 毎年度の事業終了後に、中国経済産業局、広島県、世羅町へ報告する予定。
- (4) 事業の進捗状況・評価・見直しの結果を常時閲覧できるように商工会報「まるせら」及び商工会公式ホームページ (<http://marusera.com>) にて広報する予定。